

## 1. 競技方式

インターネットや BIM ( Building Information Modeling )などの IT 技術を活用した建設プロセスを公開しながら進める仮定の公開建築コンペ。

## 2. 競技への参加要件

高速インターネット回線：Build Live では、各種のデータ提供、提出をインターネット経由で行います。高速のインターネット接続が必要です。課題提出に必要な上り側の速度（数 Mbps 程度以上は必要でしょう。ADSL 等は下りよりも上りの速度が遅いです。ご注意ください）を確保してください。なお、インターネット利用にかかる費用は応募者負担とします。

## 3. SNS のアカウント作成

応募者は問い合わせや情報共有のために Facebook に「Facebook 参加者グループ」を作成し活用しますので、Facebook にアカウントを作成してください。

## 4. アピールサイトの作成と投稿内容

応募者は、Blog、SNS 等によるアピールサイトを設け、自己アピールを投稿してください。投稿されたコンテンツは審査に使用しますので、アピールサイトのアクセス先を事前にお知らせください。

アピールサイトへの投稿は重要です。審査の際、この投稿からチームの取り組みの様子を把握しますのでアピールしたい内容をわかりやすい表現で投稿してください。また、2017 年 3 月末までを目処にコンテンツを保全してください。

アピールサイトには次の内容を含む投稿をしてください。

- ・課題に対する提案内容：条件の読み解き、アイデア、代替案、設計のポイントなど
- ・BIM への取り組み：ポイントとなった議論や判断、判断に使われたデータとその説明、データの受け渡しの状況、アイデア、作業の様子など
- ・データの説明：データ共有サイトへアップロードした間データ、成果物などの説明。第 3 者が検証可能となるようにしてください

## 5. 提出物と提出方法

・応募者は BLJ2017 で予定している BIM への取り組み内容を示す BIM 計画書を提出してください。締め切りは別途指示します。BIM 計画書は、ひな形を提供しますので必要事項を記載し提出してください

・検証可能な 中間データをデータ共有サイトにアップロードしてください。データ共有サイトにアップロードされた提出物は、一定の期間、見学者に向けて公開されます

・室の自動集計を可能とする 所定の情報を付加した IFC ファイルを、データ共有サイトにアップロードしてください

・自己アピールは、競技開催期間中に Blog 等への掲載や SNS への投稿で発信してください。必須です。過去の Build Live 参加チームのアピールサイトが公開されていますので、参考にしてください。

・後日、プロセスを確認するために必要となるファイルを一タ共有サーバへアップロードして

ください。アップロードするファイルの例は次のとおり

1. データ交換したファイル
2. 判断の元となったデータのファイルなどとその説明資料
3. 成果物と説明資料

## 6. 審査

プロセスの審査：応募者が Blog や SNS に投稿する取り組みの様子を確認しながら、プロセスの評価を行います。ここでは主に主催者によって、技術的な取り組みに対する評価を行います。

・審査会：審査員の視点から評価を行います。これまでの Build Live では、提出作品の動向を踏まえながら、BIM の特性を活かした作品をより高く評価してきました。審査会では、チームに説明を依頼する場合があります。方法は別途指示します（審査会場への出席、TV 会議などを想定）。

審査員は次の方々です。

※調整中

- ・投票：見学者、応募者、その他による投票を行います。

## 7. 賞

主催者および審査員、協賛企業による審査を行い、参加チームの中から以下の賞を授与します。

- ・技術賞としてアワード
- ・審査員賞として最優秀賞、優秀賞など
- ・協賛企業の冠賞

なお、BLJ2017 の受賞には、該当敷地に関するいかなる権利付与もありません。

## 8. 提供サービス

主催者は、応募者に BIM プロセスを体感いただけるよう、協賛企業から提供されたサービスやソフトウェアなどを提供します。詳細は別途お知らせします。

以上

[2017/7/12 改訂]